

はじめに

私たちは、未来を担う子どもたちが、豊かな知性やすこやかな心と体を兼ね備え、社会の一員としての公德心や社会性を身に付け、夢に向かってチャレンジできるよう、たくましい人間として育てたいと考えています。

しかしながら、家庭の教育力の低下や社会環境の変化など、子どもを取り巻く環境が多様化、複雑化している中であって、規範意識が低く自分の感情がコントロールできない子どもが増えてきています。

このような中、県内の小学校、中学校では、近年、暴力行為の発生件数が増加傾向にあり、その状況は全国的にみても憂慮すべき状況であります。特にここ数年、小学校での問題行動が増加し、低年齢化が大きな問題となっています。

このような状況を踏まえ、県教育委員会では、平成21年度から香川大学教育学部と連携して、県内の問題行動等の実態及び発生の背景や要因の分析を行うとともに、地域や学校の中核となって問題行動等に対応するミドルリーダーと連携し、問題行動等の予防、早期対応に実践的に取り組んできました。そして、今般、この成果を踏まえ、各学校において問題行動等の予防、早期対応を行うための「小学校問題行動等防止プログラム」を策定しました。

本書を手引書として、各小学校において学校の実態に応じたスクールプログラムが策定・実施されることにより、予防的・積極的な生徒指導の一層の充実が推進されるものと期待しています。

児童一人一人にとって、自分の通う学校が「いっしょに過ごしたい仲間がいる毎日通いたい学校」、「生き活きと過ごせて、自分を磨き伸ばすことのできる学校」として愛着の持てる場所となることを願ってやみません。問題の解決は容易ではありませんが、県教育委員会としましても子どもたちを主役に、学校、保護者、地域と手を携え、取り組んでまいりたいと思います。

香川県教育委員会教育長

細松 英正

目次

はじめに	-----	1
目次	-----	2
第Ⅰ章 問題行動等の未然防止に向けて	-----	4
1 本県の子どもたちの現状		
2 これまでの取組		
3 小学校問題行動等防止プログラムの活用にあたって		
第Ⅱ章 検証改善プラン	-----	11
① 『実態把握』	-----	16
1 学校の生徒指導の状況を把握する		
2 児童の実態を把握する		
② 『共通理解』	-----	20
1 全教職員が課題と具体策を共通理解する		
2 校内研修で教職員の資質能力の向上を図る		
第Ⅲ章 指導体制プラン	-----	25
① 『生徒指導をコーディネートする』	-----	26
1 生徒指導担当教員を中心に、生徒指導部が企画・運営をする		
2 日々の状況を把握し、組織的に対応するシステムを確立する		
② 『6つの視点を踏まえた教育活動を推進する』	-----	30
1 様々な立場の者が協働体制で取り組む		
2 一貫性のある指導ができる体制を工夫する		
③ 『個別のサポートをする』	-----	34
1 特定の児童をチームで支援する		
2 保護者・関係機関や専門家と連携する		

第IV章	教育活動プラン	-----	39
①	『活躍できる』	-----	40
1	一人一人に特有の役割と責任を与える		
2	その子のよさが発揮できる場をつくり、承認・賞賛する		
②	『安心して自分を表現できる』	-----	44
1	互いの思いや願いを共感的に受け止め合う集団を育てる		
2	思いや願いを表すこと・伝えることをサポートする		
③	『かかわり方を身に付ける』	-----	48
1	気持ちや考えの伝え方など社会的なスキルを教える		
2	集団の一員としての在り方、折り合うことの大切さを教える		
④	『人とつながる喜びを味わう』	-----	52
1	集団でやり遂げることのすばらしさを実感させる		
2	年齢の異なる人達とかかわるすばらしさを実感させる		
⑤	『主体的に生活をつくる』	-----	58
1	どうすればよいか自ら考え出したり選択したりする		
2	集団の在り方を約束し、守り合う大切さを実感させる		
⑥	『自分を見つめ生き方を考える』	-----	62
1	自分の夢や目標に向けて努力することの大切さを実感させる		
2	体験や日常生活とつなぎ、これからの生き方を考える		
第V章	スクールプログラムの作成	-----	66
第VI章	プログラム推進の基盤となる児童へのかかわり	-----	68
1	かかわりの3訓-①『共感的に受け止める』		
2	かかわりの3訓-②『チームの力で』		
3	かかわりの3訓-③『毅然と粘り強く』		
おわりに		-----	70